

2020年10月3日 -那珂川-

* 下線付き文字をクリックするとリンク先に飛びます

例年なら、9月中旬くらいには終わりにするのですが、今年は、釣行回数も少ないので、もう少し粘りたいところ。9月29日に那珂川に行ったところ、まだ、釣れる鮎は鯖が出ていなかったため、今回は最後と決めての釣行です。

先週よりは少し早い6時に自宅を出発。黒羽には8時過ぎに到着。初釣行と同じOO魚屋さんでオトリを購入。先週別のオトリ屋で買った鮎は黒く錆びていましたが、今日のは瘦せてはいるけど綺麗なオトリです。今日のポイントは、先週魚が付いていることが確認できている湯殿大橋下流の瀬です。ちょっと時間が早いかなとは思いましたが、9時に釣り開始です。先週は小雨模様もあって激寒でしたが、今日はそれほど寒さは気になりません。

タックルは、今年新調した競技T。先週中ハリスを切っていった魚もいたので、水中糸005号の複合に中ハリス08号の直結仕掛けです。これ、瀬の中から那珂川返して・・・と妄想を膨らませ、瀬脇から順に攻めていきます。ところが、流心、対岸、行ったり来たりと隅々まで探るも2時間半無反応。水温なのか？もう魚は居ないのか？仕方なく瀬の中は諦めて、瀬尻に広がる広大なチャラへ移動。竿を45度くらいに立てて止め泳がせをしているとようやく1尾目が掛かりました。サイズは15cm程度とチビ鮎です。それでも天然に変わったので、オモリを外し、立て竿で泳がせてみることに。かなり広範囲を泳いだところで、目印が1mほど走る良い当たり。これは？と思いついてがっかり、こちら15cmほどで、しかも卵を持ったメスでいかにも泳がない感じ。その後も11時半まで反応が無く、車で移動するか迷いましたが、このエリアはここしか見ていないので、とりあえず、歩いて下流を見て駄目なら大移動と思い、下流へ移動。下流は、広いチャラが絞られ早い流れの下は深いトコ瀬になっています。瀬には先客が居たので、下流の深いトコ場に行くと、地元の人たちが対岸の護岸の上から友釣りをしています。こちらからは距離があるので、こちら側の筋にオトリを通していくと、何かオトリの動きが変？すると、久しぶりの鮎が掛かりました。引き寄せると22cmほどの良型でした。この後も深瀬を丁寧に探っていくとポツリポツリ。釣れるのはいずれも20cmオーバー。大きい魚は緩い流れに入っているようです。一通りオトリを通したので、今度は瀬の頭へ移動。結構甲し強いので入っていないだろうと思いつつ3号玉を付けてオトリを入れると、あっという間に対岸へ?! おかしいと思い竿を立てると鮎が掛かっている。時間は2時半。時間帯なのか？サラ場なのか？ここからペースが上がり、入れられるポイントでは一発で掛かってくる。本当は対岸のへちを釣り下りただけ、アオサガ酷く、足元はツルツル。流れが手前から沖に走っているので、さすがに流されるとヤバいので、程々の所で断念。3時半までの1時間で6尾を追加して、計14尾。最後は思いがけず、流心で最大の23cmが来て慌てたけど、無事キャッチして終了となりました。釣れない那珂川でツ抜けが出来たので、まあ、有終の美ということで、今シーズンは終了です。

翌日は矢吹町でヘラブナの例会があるので、夜は一人車中泊で、最後の鮎キャンプを満喫。来年は何も気にせず、楽しい鮎釣りができることを願うばかりです。



高橋商店さんのオトリは1尾250円!!



先週釣れた瀬はお留守。この時期一週間でガラッと変わります。



何とか良型も混じりました。



ツ抜け達成! 有終の美?



冷えた体は五峰の湯で温め。



今回は豚園で体力回復！ニンニクが効いています



タックル

竿	競技T90	
水中糸	ランプレミアム005号	直結
ハリス	1.2号	
針	マルチ7号4本針	